

## 2026年度 第3回サンマ中短期漁況予報（抜粋）

令和8年10月2日

福島県水産海洋研究センター

一般社団法人 漁業情報サービスセンターより、9月29日に「2026年度第3回サンマ中短期漁況予報」が発表されましたので、概要をお知らせします。

### 1. 今後の見通し

予測期間：2026年10月上旬～11月中旬

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象魚群：南下回遊群

#### （1）来遊量

##### 道東海域

10月上旬は、低位水準で小型魚主体の来遊がある。10月中旬から1歳魚の来遊量が増加するため、10月中旬～下旬は低位水準で増加する。11月上旬は低位水準で減少し、中旬は断続的な来遊となる。

##### 三陸海域

10月下旬から低位水準ではあるが、来遊がある。11月上旬は低位水準で増加する。

##### 常磐海域

11月中旬から低位水準ではあるが、来遊がある。

#### （2）漁場

道東海域 10月上旬は落石～釧路沖。

10月中旬～11月上旬は落石～襟裳岬沖。

11月中旬からは漁場形成がなく、終漁。

三陸海域 10月中旬まで漁場の形成はない。

10月下旬～11月上旬は三陸北部。

常磐海域 11月上旬まで漁場の形成はない。

11月中旬は常磐北部。

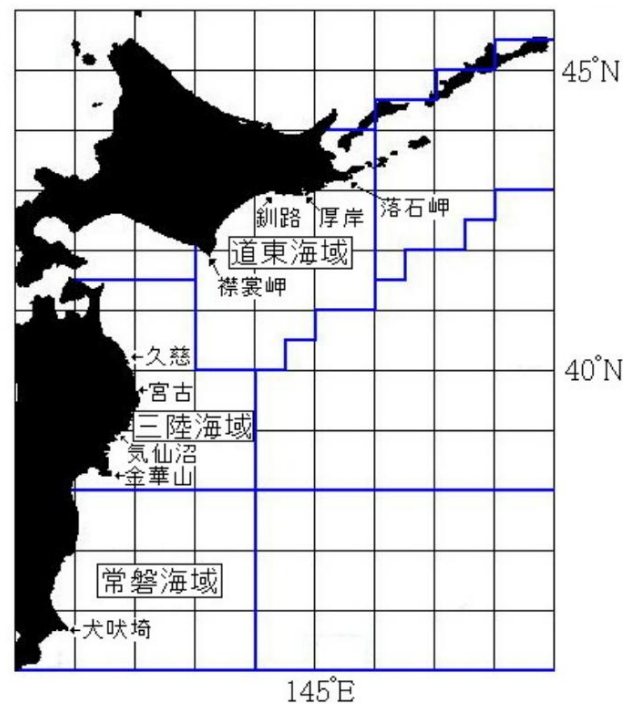


図1 海域の名称

### 2. 漁況経過概要（9月中旬）

#### （1）来遊量

道東海域では前年度を下回り、低位水準。

#### （2）漁場

道東海域では落石沖～襟裳岬沖に断続的に形成。

主漁場は道東海域より東～南東側の公海。落石東310海里～南南東220海里での大型船の漁獲量は平均3.4トン、最高15トン。

#### （3）魚体

道東海域では小型魚が主体。

道東海域より東～南東側の公海では体長26～32cm、体重70～140g台が主体。

魚体は前年より小さい。

※詳細については下記のHPをご参照下さい。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター プレスリリース

<https://www.jafic.or.jp/information/2026/09/29/post-5/>